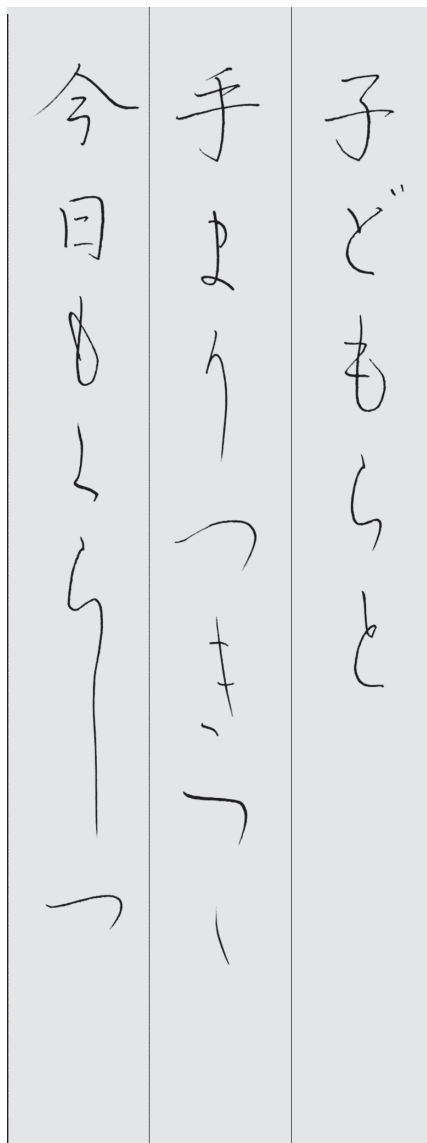


憲照先生の手本ア・ラ・カルト(5)
(à la carte)

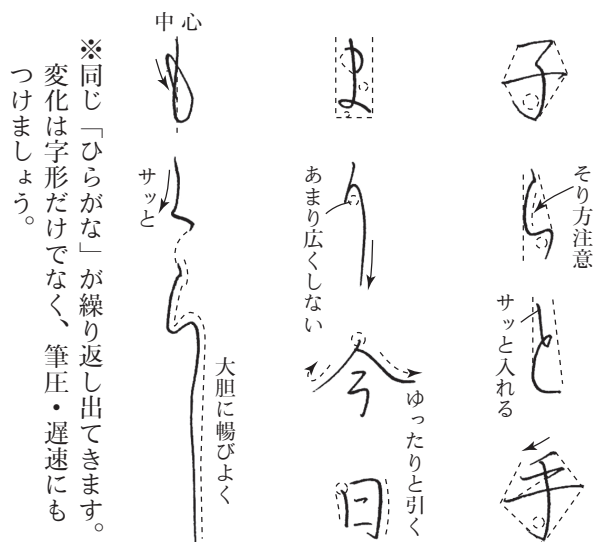
締切り 五月二十五日(必着)

昭和54年4月



つけペン・墨汁使用

〔解説〕



※同じ「ひらがな」が繰り返し出てきます。変化は字形だけでなく、筆圧・遅速にもつけましょう。

- ◎ 本会は、今年で創立六十六周年を迎えます。昨年はコロナ禍で、世界中が混乱に陥り、本会としても過去にない大打撃を受けました。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。
- ◎ この現状を踏まえ、今年の短期特別課題は、『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一種類を四ヵ月交替で掲載していく予定です。
- ◎ 多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。
- ◎ 創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

〔作品の出し方〕

- ▼ 今回は硬筆部だけに限ります。全員本会段位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。
- ▼ 硬筆ならば用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。
- ▼ 出品制限の対象とはなりません。
- ▼ 事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。
- ※ 不明な点は無記入でも結構です。
- ▼ 優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。
- ▼ 月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

★ 子ども…(書体Ⅱ行書)
良寛和尚

(二七五七〜一八三二・歌人)

「かすみ立つ長き春日を」から続く一首の和歌であるが、和尚は生涯寺を持たず、越後の農村に子どものお守をして暮らし、それが今日の農村託児所の構想の基となった。

この歌を口ずさむと、良寛の脱俗の生活が、ゆかしく微笑ましくしのばれる。

一般部規定課題

締切り 5月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔変換例〕

〔読み〕人生は芝居のごとし 上手な俳優が乞食に 大根役者が殿様に

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

人生は芝居のごとし
上手な俳優が乞食に
大根役者が殿様に

おく むら のぶ ゆき 書
奥 村 暢 之

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

川 道 人 曲 物 語

物	曲	川
語	が	も
が	る	道
生	と	も
ま	こ	人
れ	ろ	も
る	に	

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★川も：（書体＝楷書）

吉村喜彦（一九五四～）

大阪出身の作家

大阪生まれでどうしても江戸前のシャリにならないと、河畔のバーでこぼす職人の客に常連は「寿司通に好かれる優等生になどならなくていい」「人も川も少しくらい蛇行したっていい」と言葉をつないでいます。

人生はじたばたしてもいいんだと。

◆6月課題予告（行書）

想像力の無さは

知らぬうちに

人に刃を向ける

★人生は：（書体＝行草または草書）

福沢諭吉（一八三四～一九〇一）

明治期の教育家・思想家

この言葉の続きは、「とかく、あまり人生を重く見ず、捨て身になって何事も一心になすべし」と言っています。状況は変えることができます。苦手と思える教科も克服できます。全ては行動を起こして、それを継続させていくことに尽きるのではないのでしょうか。

◆6月課題予告（楷書）

鏡は己惚れの

醸造器であり

自慢の消毒液です

▼教範・書範＝行草または草書

▼師範＝行書

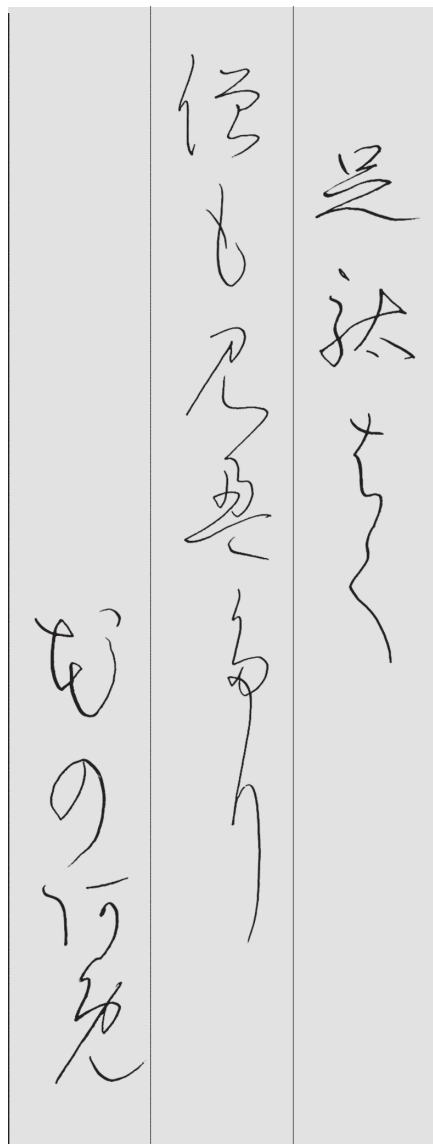
一般部かな課題

締切り 5月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

足駄はく僧も見えたり花の雨



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

足駄はく僧も見えたり花の雨



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

足駄はく僧も見えたり花の雨

(坪井杜国)

【句解】桜の花にしとすと雨が降り
かかっているとき、境内には人が往き
来し、その中に足駄を履いた僧侶の姿
も見える。

【鑑賞】松尾芭蕉は杜国の人柄と才
を非常に愛して、『笈の小文』に「初
瀬」と前書し「春の夜や籠り人ゆか
し堂の隈」の芭蕉句と併記されるが、
『阿羅野』(元禄二年「二六八九」刊)
に「木履はく僧もありけり雨の花」と
あって、『笈の小文』に記される時、改
められたのであろう。

【古筆参考】

久 久 久 久 久
堂 堂 堂 堂 堂
多 多 多 多 多
阿 阿 阿 阿 阿
免 免 免 免 免

【解説】「へ」と「あ」と

の右半分の下に「へ」と「あ」と書
くと二行目が少し右へ流れて仮名らし
い散らし方となります。

◆6月課題予告

卯の花に蘆毛の馬の夜明かな

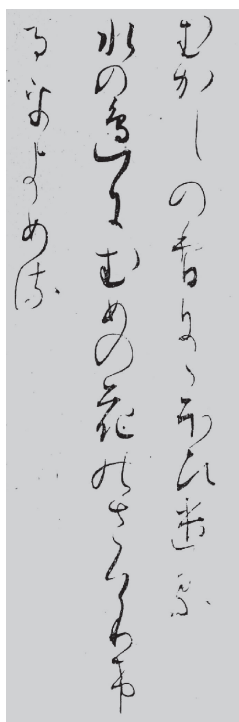
(森川許六)

締切り 五月二十五日（必着）

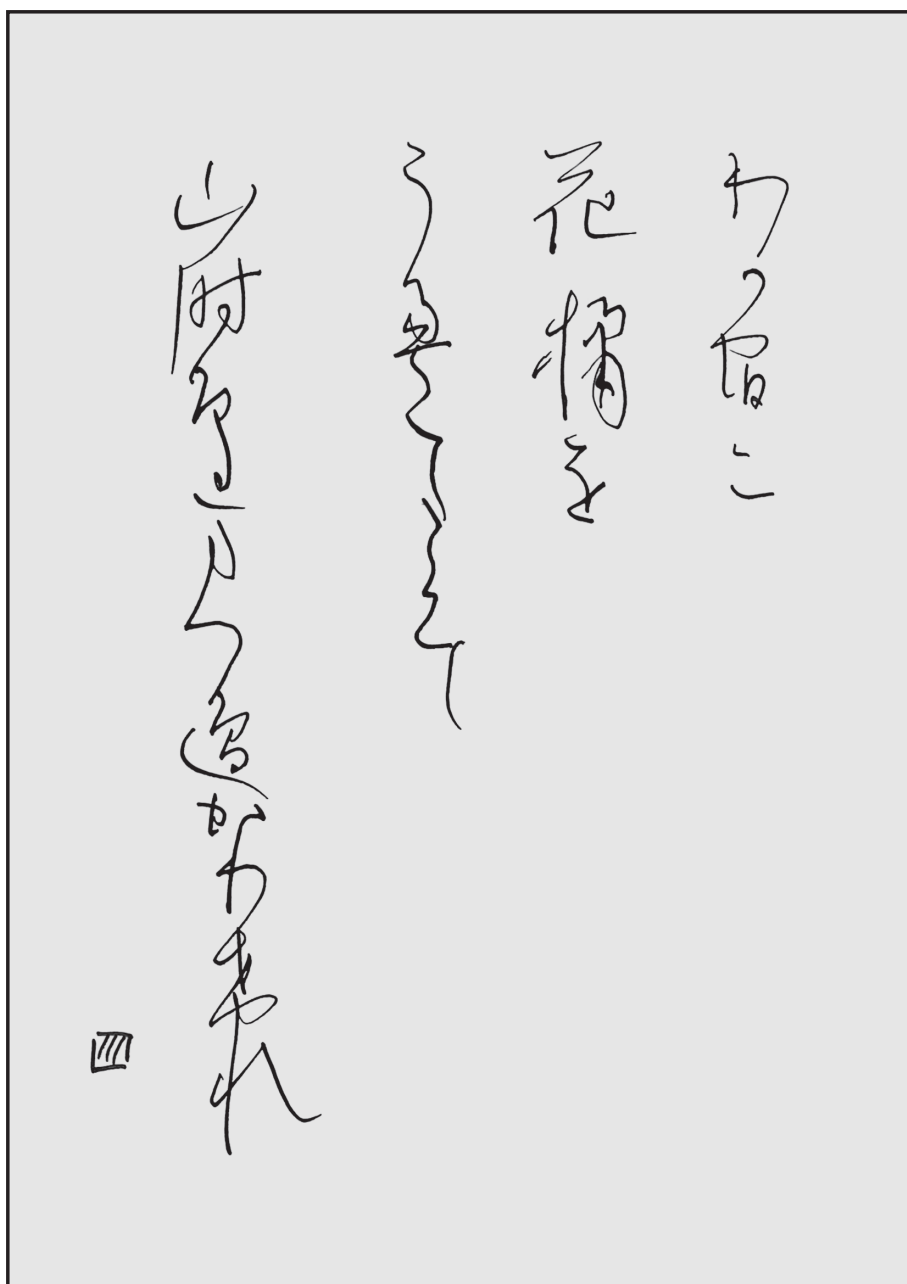
築やな
瀬せ
舟しゅう
香こう
書

〔古筆参考〕

せき ど ほん こ きんしゅう
関戸本古今集



むかしの香ル、本にほひける造累
 水の邊ルにむめの花能のさけりけ介利希
 る平流をよめる



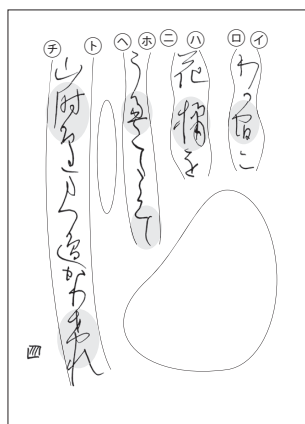
わが宿に花橘を植ゑてこそ
可二時鳥万邊利希
 山ほととぎす待つべかりけれ

〔歌意〕自分の家に花橘の木を植えてこそ、山郭公やまぼしやうすも待つことができるというものである。

〔出典〕 山家集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



イとロ、イとニ、イとハ、イとチ
 ハとニ、ハとハ、ハとチ、ホとハ、
 ホとチ、ハとト、それぞれ呼応。

○余白大切。

● 密の動き、面構成大切。

◆ 6月課題予告

おのづから月宿るべきひまもなく
はちす
 池に蓮の花咲きにけり

締切り 5月25日(必着)

風かぐわしく、鯉のぼりが勢いよく
ひるがえ
翻る季節となつてまいりました。
我が家では、二歳になった孫にと、
幸江さんからいただいた武者人形
を飾りました。健やかに成長した
姿の動画をラインで送ります。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

風かぐわしく、鯉のぼりが勢いよく
翻る季節となつてまいりました。
我が家では、二歳になった孫にと、
幸江さんからいただいた武者人形
を飾りました。健やかに成長した
姿の動画をラインで送ります。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

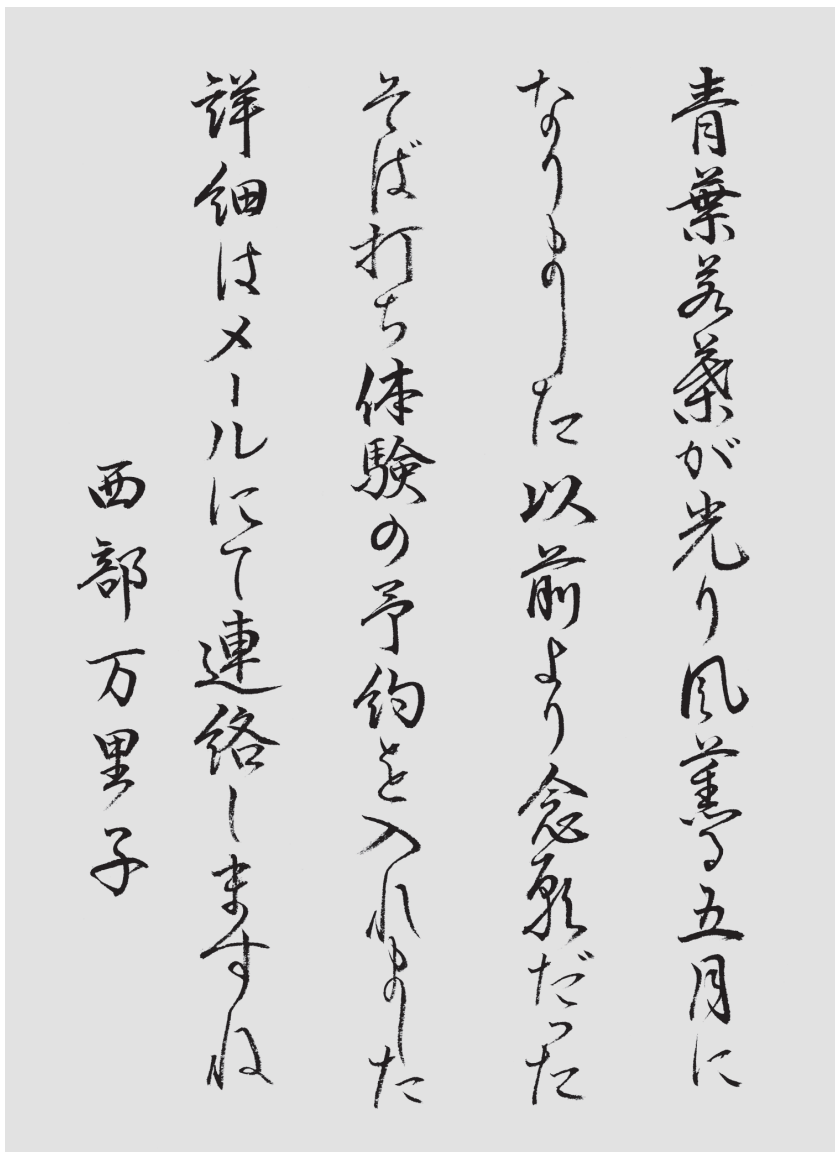
棚仕立てにした藤は、花の後に実を
ぶら下げ、夏の緑陰樹ともなる。

静岡県御殿場市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

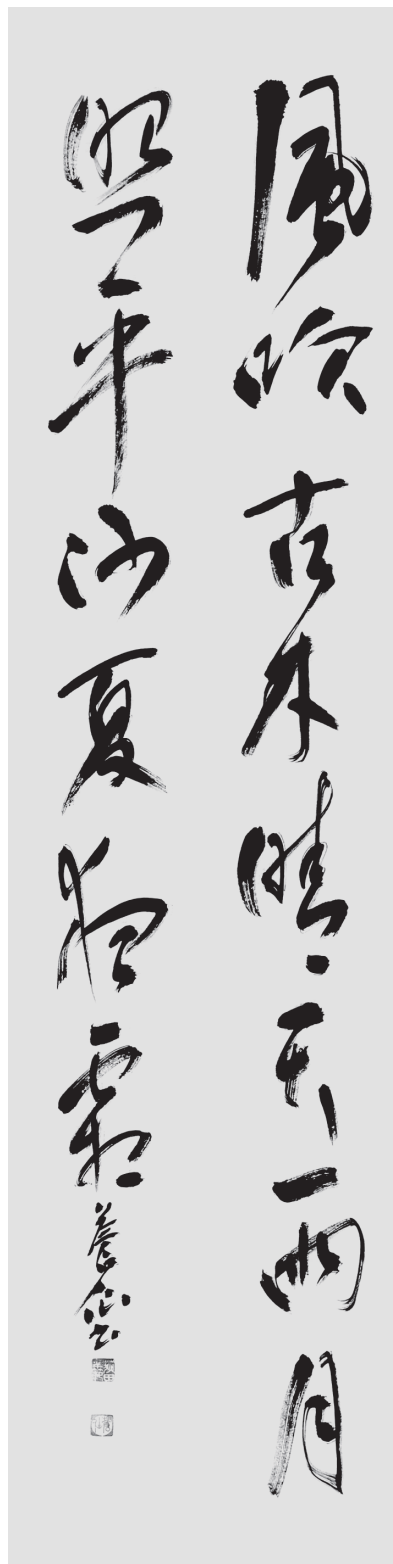
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

伊藤梅香 書



かぜこほくをふけさせてんのあめ
風吹古木晴天雨

つきへいさをてらせばかやのしも
月照平沙夏夜霜

はくきょい
白居易

締切り 五月二十五日 (必着)

半切 (一三六 cm × 三五 cm)

荻田蒼仙 書

〔条幅解説〕

打楽的書法で穂先の弾力を生かすように努めてみましたが、線はまだまだ。多習のみです。

青葉若葉が光り風薫る五月になりました
以前より念願だったそば打ち体験の予約を入れました
詳細はメールにて連絡しますね

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔大意〕 風が古木に吹いて葉擦れの音を立てると、晴れた空に雨が降ってきたかのようだ。月が砂原を照らして白く輝けば、この夏の夜に霜が降りたようだ。

初出品の方へ

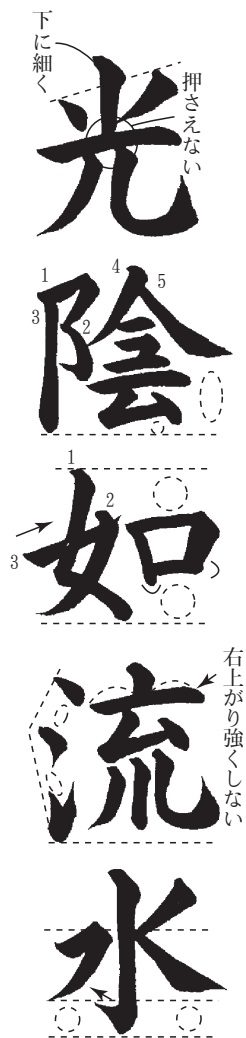
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

須田一葉書

光陰如水 流光如

〔解説〕



光陰如流水

〔大意〕月日は流れる水のように早く過ぎていく。

※「光」は日、「陰」は月。

◎「上達のポイント」

初心者の方の指導の際に感じることは、筆圧が強過ぎてにじみが多く、線も荒れて一文字を書く途中で筆先が割れてしまう人が多いことです。

○筆は軽く持ち、墨を含ませたら力を入れず立てて書きます。ハネ、ハライの場合も筆を廻さず、筆鋒を少し転換させて中心で書くとすっきりとした線になります。(二度書きにならないように)

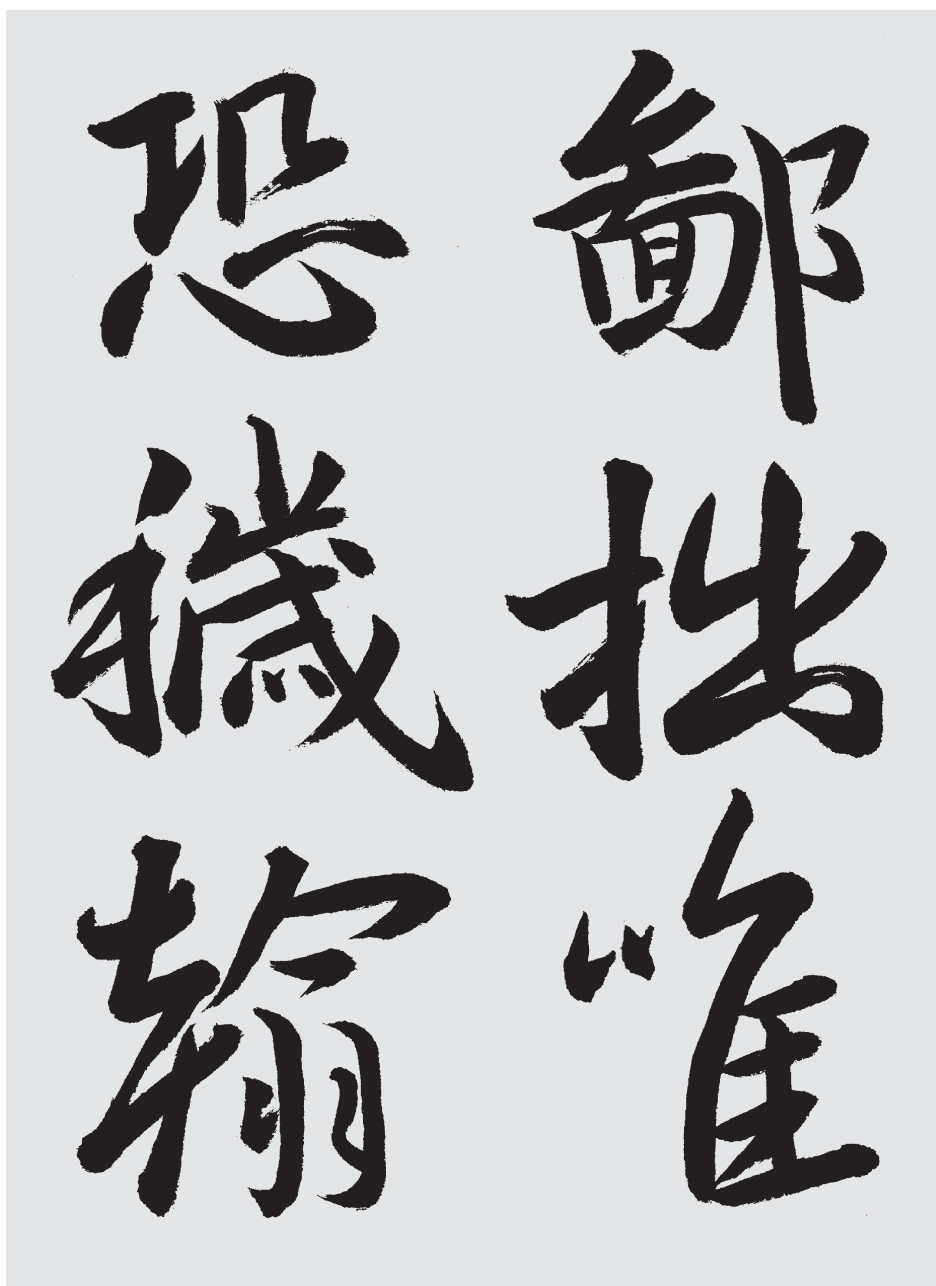
○一画ずつ見ながら書くと墨が下りてしまい、途中で付け直す線が悪くなり、悪循環です。一文字毎を確実に学んでから全文を書くこと全体のバランスを考える余裕も出てきます。

◆6月課題予告(行書)

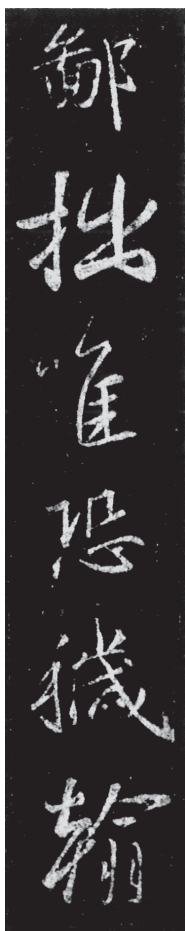
微雨夜 来過

準初段から師範まで

奥村暢之臨



鄙
拙
唯
恐
穢
翰

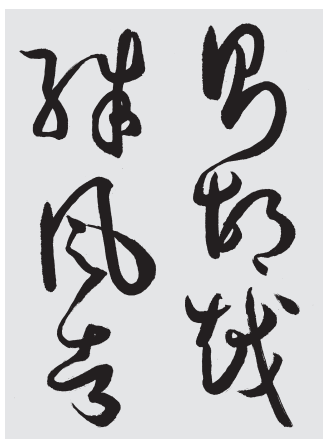


〔出典〕 集字聖教序（六七二）
〔筆者〕 王羲之の法書より集字
〔読み〕 鄙拙と（為す）唯だ恐らく
は、翰（墨を金簡に）穢し、

〔解説〕



◆ 6月課題予告



新入から1級まで

浅井機山先生書

牡丹散ぼたんちつて打うちかさなりぬ二三片さんぺん

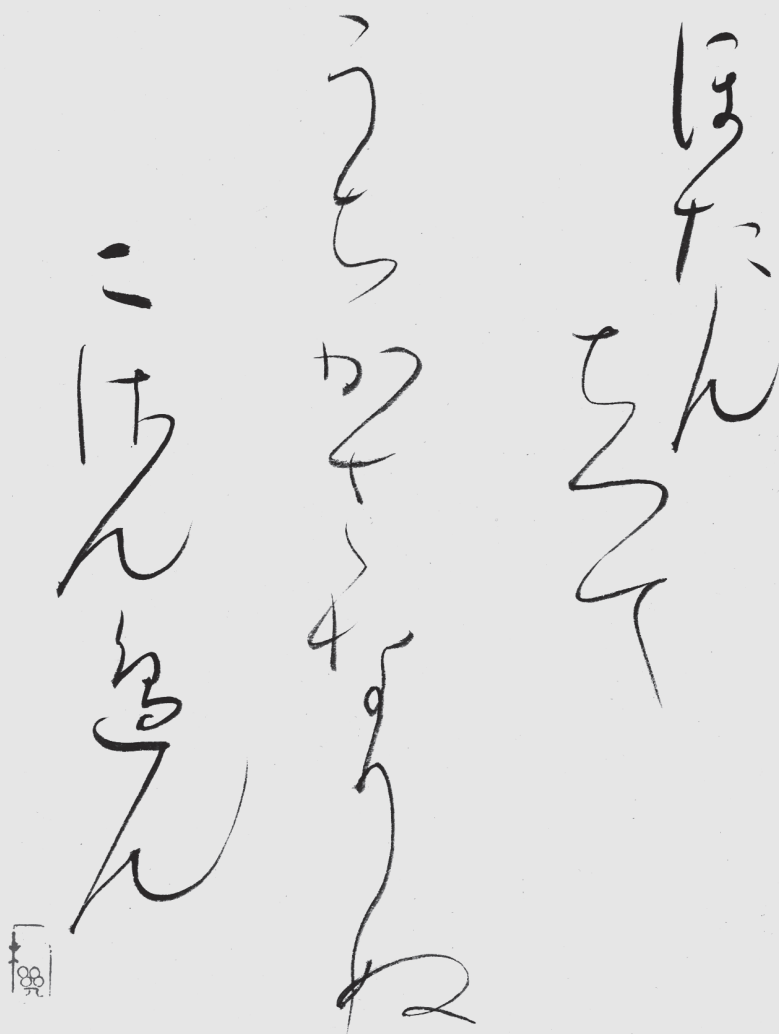
与謝蕪村「句集」

〔句意〕

庭の牡丹をながめてみると、咲ききった牡丹がはらりとくずれ散り、地上に二三片重なって合っている、の意。時間の経過と、花びらの重量感が感ぜられる。

◆6月課題予告

夕ゆふだちや草葉くさばをつかむすめむら雀



〔解説〕

まず全体を見ると、右下の大きな余白があります。真ん中の行尾「りぬ」が暢びのびとして右の余白が生きています。それから、「ん」が3回も書いてあります。

それでは、1行1行見ていきましょう。「ぼたん」、「ほ」は、たっぷり含墨した筆で空中上からたたくようにして入筆して第1画を書き、ツクリの方はじっくり書きます。書き終えたら、すかさず直線で「た」へ連綿し、軽く当たって第1画をほぼ水平に引きます。第2画もじっくり書き、右の点2個は軽やかに太鼓をたたく感じで書きます。「ん」はのびやかに。

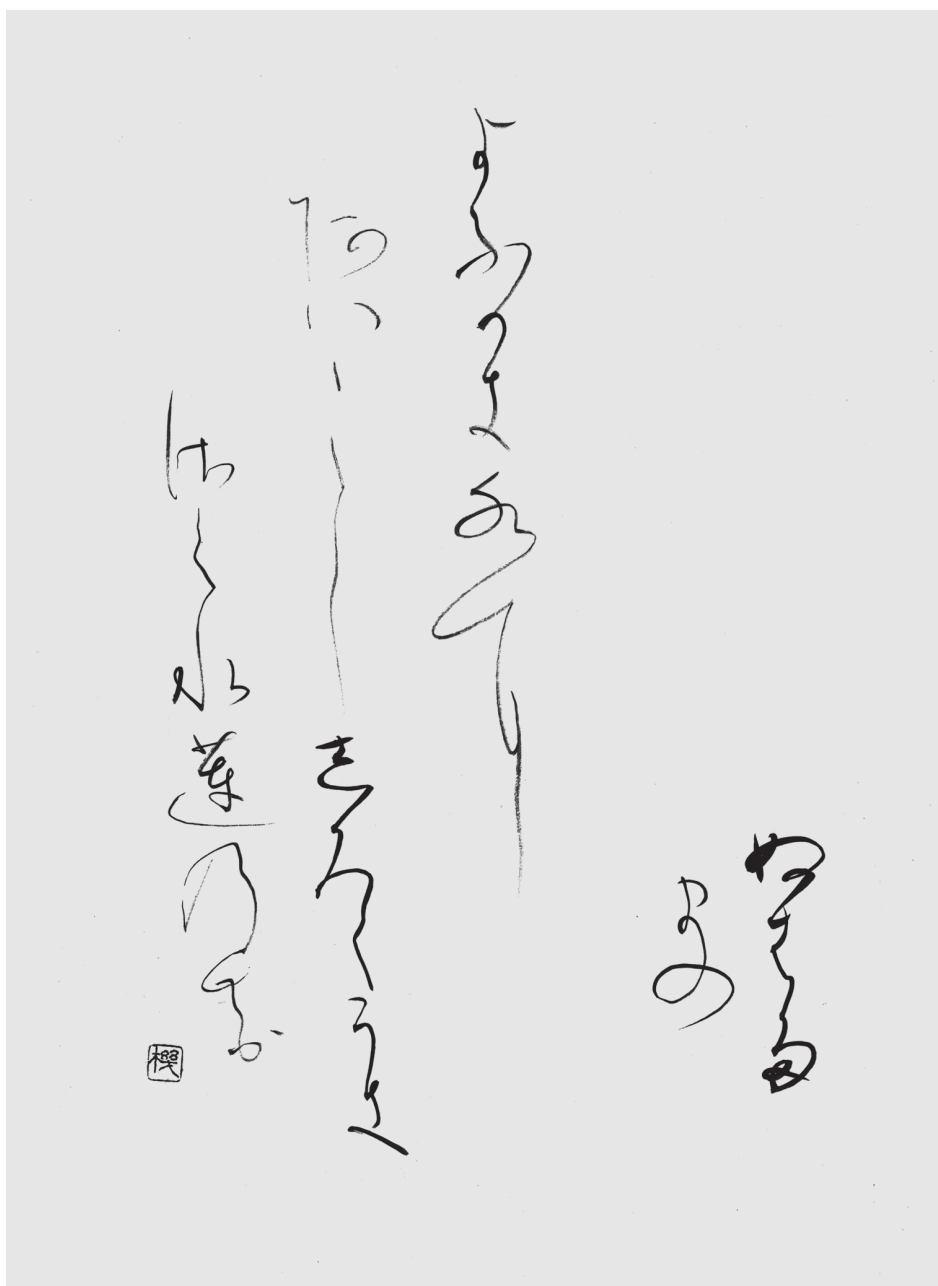
「ちつて」、少しずつ右へ移行して「ぼたん」を受けます。〈中心移行〉です。「うちかさなりぬ」、「うち」を連綿し、一旦流れを切って、「かさなりぬ」を連綿します。

この行の字間の疎密について見ていきましょう。すると、連綿してあるとしないにかかわらず、字間は同じように書き進めています。最後の「りぬ」になって伸びやかになっています。〈字間の疎密の変化〉です。

「二佐ん邊ん」、墨継ぎして、変体仮名「二」の書き出しの高さは大事です。右側の「ちつて」と同じ高さにならないよう気を付けながら、慎重に書き出します。「佐ん」「邊ん」と同じ「ん」が続きます。いや、1行目の「ん」もあります。これと同じように書いていいです。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



ぬば玉者多の夜よふかき水可支にあはあはし

白志ろくうきさく水蓮支佐の花

古泉千櫨こいずみちかし

〔歌意〕

夜も深くしずまった池の水に淡々と見えて、白く浮いて咲いている、水蓮の花よ。

◆6月課題予告

めぐりあひて見しやそれともわかぬまに

雲隠れにし夜半の月かな

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

右下に小さく2行5字。左に長く3行、「阿ハ、」の行が一番長い、その右左の行はほぼ同じくらいの長さです。

さて、1行1行見ていきましょう。

「ぬ者多」、慎重に勢いよく書き出します。連綿線は右上から左下に向かう斜めの線の角度の違いを見ながら書きます。

「まの」、右の行を見ながら添えるように細めに書きます。真ん中より幾分上に位置した方が次の行への移行に移りやすいです。

「よふ可支水耳」、「よ」は一気に上から書きます。「ふ」で左右に振り、「可支」で字幅の動きを抑え、「水」と

「耳」の連綿で左右に大きく振り、縦画はゆったり長く空間に溶け込むように引きます。

「阿ハ、し…」、墨量がいよいよ少なくなつて、しかし慌て急ぐことなく悠然と「し」まで書いていきます。

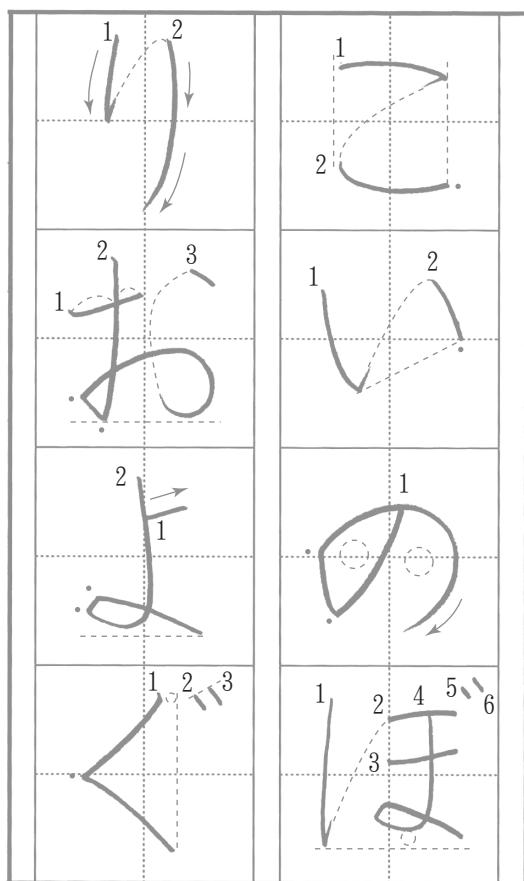
仮名では、このカスレ(渴筆)を美しく書くとは遠近感がはつきりして、仮名の美の大切な一つが表現されたことになります。(潤渴の変化)

「志」で墨継ぎ、もちろん1行目の「ぬ」と同じ高さになるのを避けます。「支」の最後の線の方向は1行目の「多」2行目の「の」、3行目の「耳」を意識して決めます。(線の指向性)

「佐く水蓮乃花」、「佐」は行頭「よ」

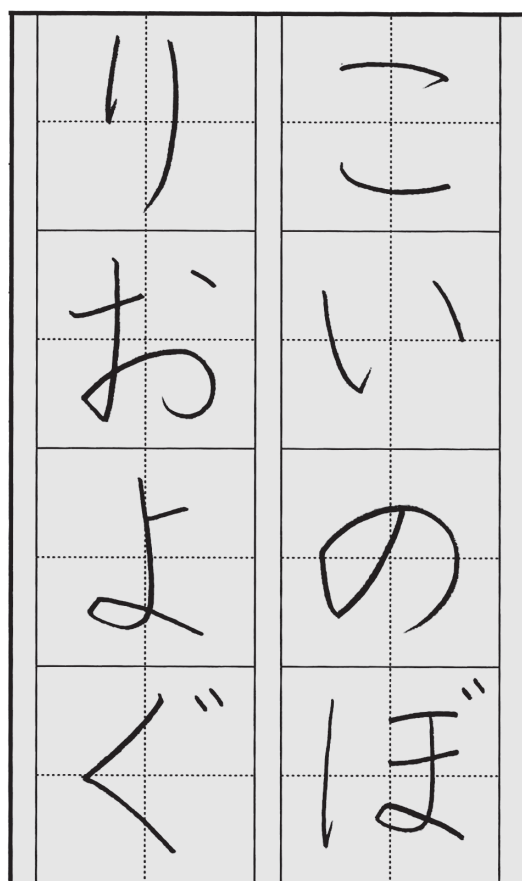
「阿」を受けて「水」と並ばない位置に書きます。「水蓮」「花」は漢字で書きましたが、仮名にしても構いません。

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



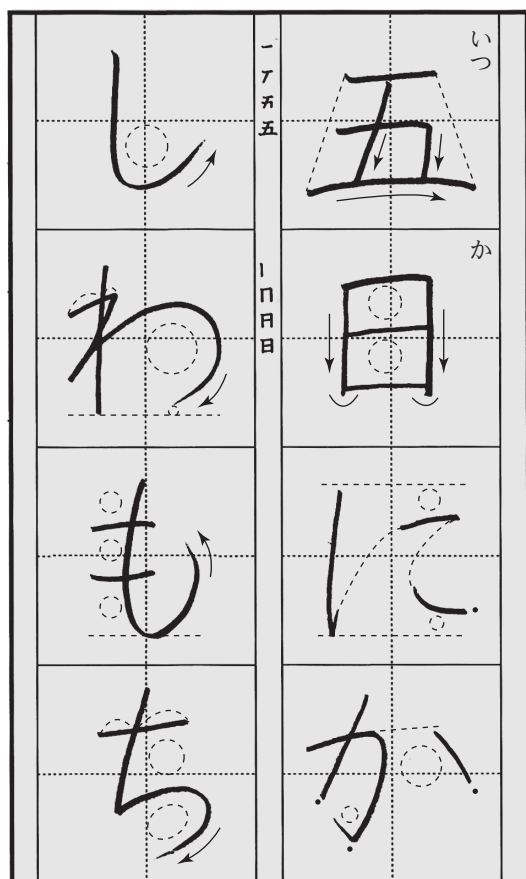
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



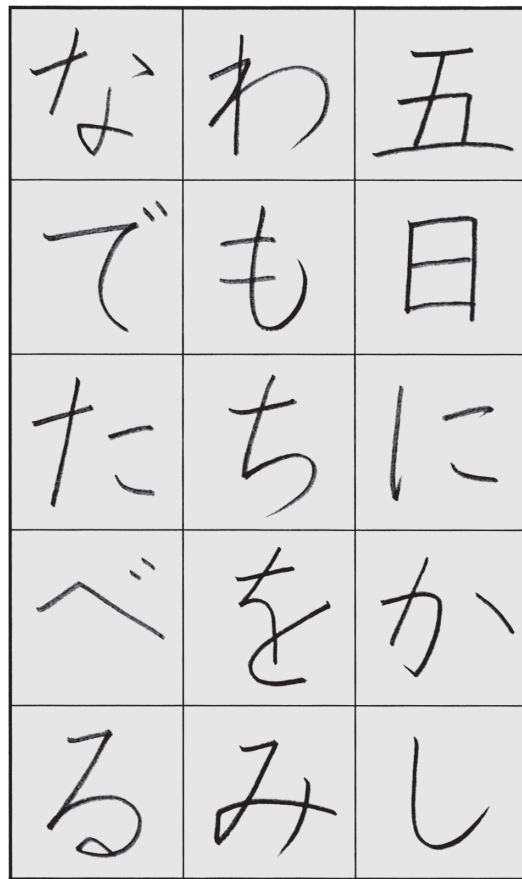
よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

ち	十
あ	二
わ	時
せ	ま

新入1級

ま	時	明
ち	友	日
あ	だ	の
わ	ち	十
せ	と	二

小 二 年
準初段以上

半	ふ
分	く
持	ろ
つ	を

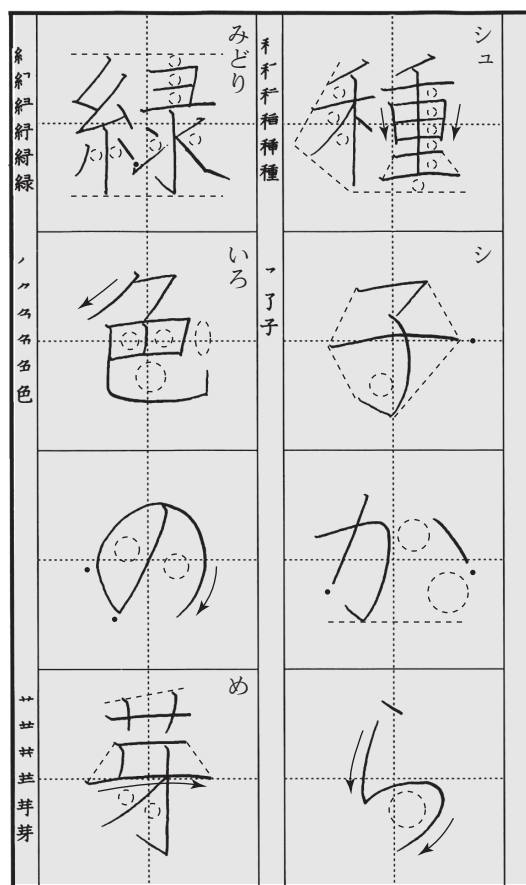
新入1級

を	い	重
半	の	た
分	ふ	い
持	く	野
つ	ろ	さ

小 三 年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年



(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

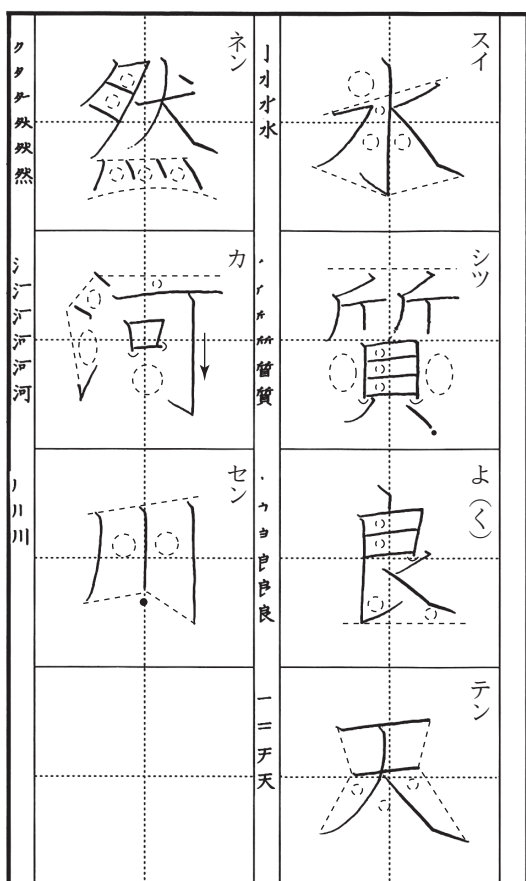
小五年



(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具 自由(黒色に限る)〉

選	評
食	判
材	高
使	廠

解説(よく見て習いましょう)

用	廠	評
の	選	判
ヶ	食	が
一	材	高
キ	使	い

小六年 (全員)

鑑	の	不
で	生	思
調	態	議
べ	を	な
た	図	虫

中二・三年 (楷書)

り	聞	気
抜	記	に
き	事	な
残	の	る
す	切	新

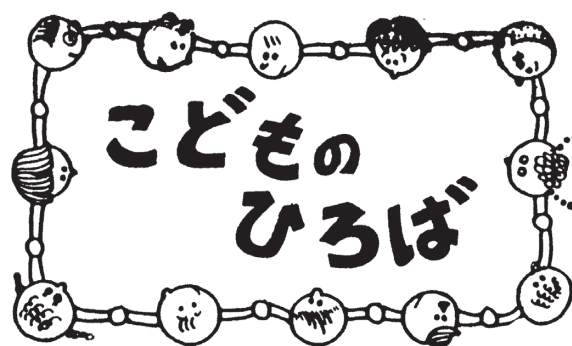
中一年 (楷書)

▼小三年以下の課題 後 藤 友 泉 書

空	の	こ	川	明
を	大	い	の	る
泳	ぐ	の	風	い
ぐ	ん	ぼ	に	光
	が	り	乗	と
			っ	
			て	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 5月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 江 本 由 泉 書

取	月	気	デ	鉛
り	例	分	ス	筆
組	課	一	ク	か
む	題	新	ペ	ら
	に	し	ン	
		て	へ	



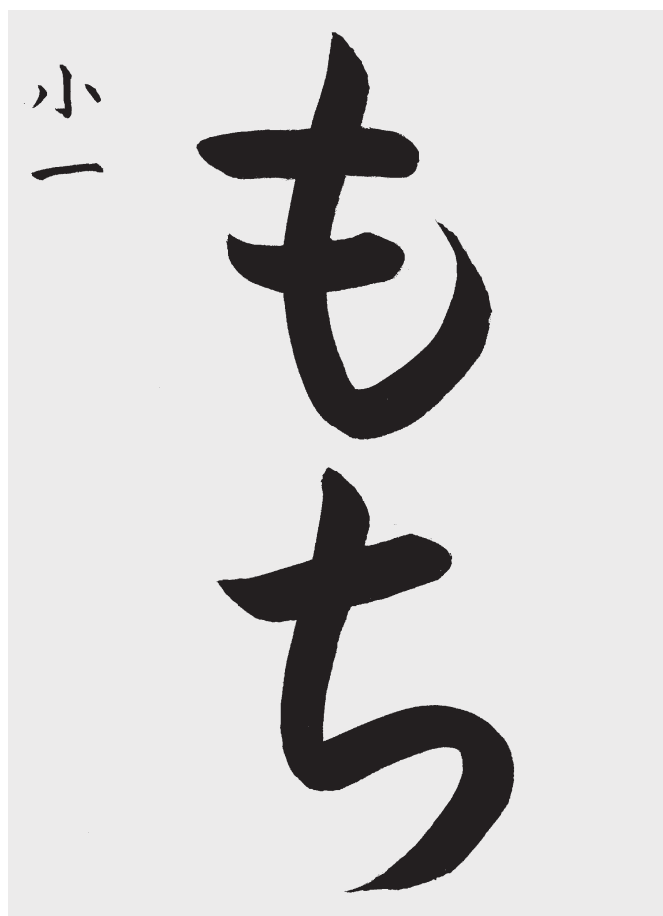
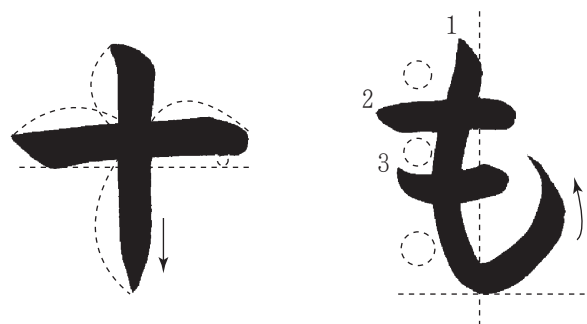
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年
酒井智仔書





色

半

天

分

然

緑



小三〜小五年
水野碧友書

中二・三
凶鑑

小六
評判

小六・中二・三年
玉樹小華書

聞 評
凶 判
鑑 新

中一
新聞

第120回 硬筆検定試験受験要項

5月25日締切り

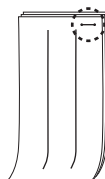
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、五月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題（小一から）⑤小論文⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を六月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和三年五月二十五日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和三年八月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

一般部三段コースまで（規定・かな）… 一、二〇〇円

規定 … 一、四〇〇円

活字課題 … 二、〇〇〇円

はがき・かな … 八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課 題	最 高 昇 段 級 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受 験 料 (新価格)
				楷 書	行 書	草 書				
一 般 部	1級コース	1級まで	下 掲 課 題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下 掲 課 題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,100

▶か な……田 中 貴 光 書

▶規 定……奥 村 憲 照 先 生 書

課題（ロ）
段位用紙

課題（イ）
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行 書》
段位用紙

《楷 書》
段位用紙

ふるには
古庭に鶯啼きぬ日もすがら（与謝蕪村）

	う	
	く	古
	ひ	と
日	は	ち
い	啼	こ
す	よ	
う	ね	
ら		

希望は
笑いの
パンである

希望は
貧しい人の
パンである

希望は
貧しい人の
パンである

◎1級コースは級位（マス目）用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

課 題 コース		受 験 資 格	最 高 昇 級 段 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書				
一 般 部	書範コース	・有 段 者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,000
	教範コース	・書 範 ・支局・支部長	教 範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教 育 部	普 通 コ ー ス	_____	5月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由							1	420
	会 友 コ ー ス	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生	5月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書） ※筆記具は自由							2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すで
に単位を取得されている、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただ
し、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

書範・教範コース課題

規定 両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

民芸品の中には

真に美しい物が

数多く見られる

かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

梅が香にたぐへて聞けばうぐひすの
聲なつかしき春の山里(山家集)

はがき 両コース共通

おはがきありがとう。野山歩きに
大賛成。暖かい陽光に誘われて、
体中むずむずしていたところです。
学生時代に戻った気分、バード
ウォッチングや野草観賞などして
大いに自然に親しみましょう。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1	山	上
見	え	か
る	村	ら

用具＝えんぴつ

小 3	よ	ら	反
く	の	対	す
聞	意	見	る
こ	う	も	人

用具＝鉛筆以外

小 4	停	赤
止	信	号
し	た	で

用具＝鉛筆以外

中 3	味	し	文
を	て	章	を
考	そ	の	熟
え	意	読	

(行書)

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にままとするとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼五月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

書	道	は	高	校
へ	進	ん	で	も
必	ず	続	け	る

(行書)

第80回 毛筆検定試験受験要項

6月24日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和三年六月二十四日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和三年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

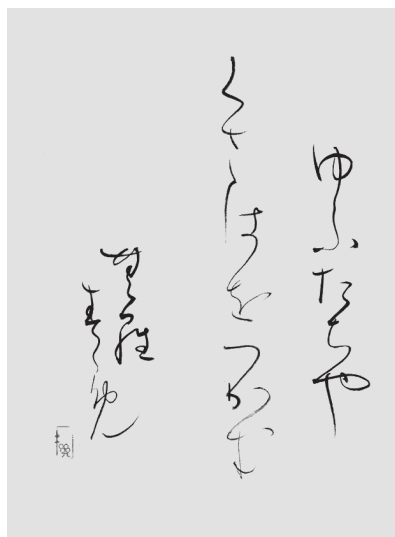
漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな
一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円
一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円
三、八〇〇円	三、六〇〇円	三、八〇〇円	三、六〇〇円	三、八〇〇円	三、六〇〇円	三、八〇〇円	三、六〇〇円	三、八〇〇円	三、六〇〇円
二、〇〇〇円	一、八〇〇円	二、〇〇〇円	一、八〇〇円	二、〇〇〇円	一、八〇〇円	二、〇〇〇円	一、八〇〇円	二、〇〇〇円	一、八〇〇円
九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料 (新価格)
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

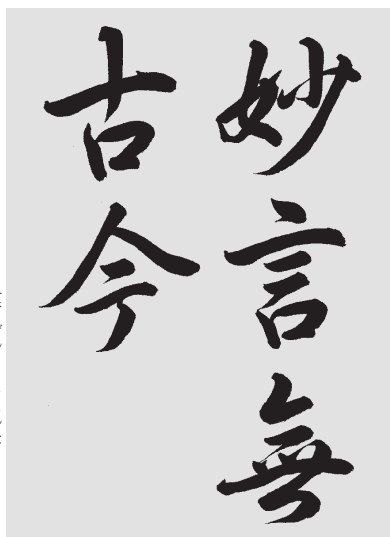
〔1級コース課題〕

《かな》



浅井機山先生書

《行書》



妙言に古今無し

須田一葉書

《楷書》



コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書						
一般部	五 段	有 段 者	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書 範	有 段 者	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教 範	書 範	教 範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教育部	普 通	—	6月しめきりの月例競書課題									1	420
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

五段・書範・教範コース課題

漢 字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

章 往 哲 夫 其 道

▼集字聖教序

仙 露 明 珠 詎 能

▼書 譜

以 爲 評 得 其 綱

かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎めぐりあひて見しやそれともわかぬまに
雲隠れにし夜半の月かな(紫式部)

※22頁参照

条 幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

あめはれてかいかにせんせいきゅうに
雨 晴 階 下 泉 聲 急
よるしずかにしてしようかんにげっしよくおそし
夜 静 松 間 月 色 遅

細 字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてく
ださい。

庭に植えた一本だけの桐の木が
今年も微笑む季節になりました
美しく咲いた花の姿を私なりに
伝えたく絵手紙にして送ります

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小 1 お か 小 6 自 然 科 学

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

会友コース課題

家 庭

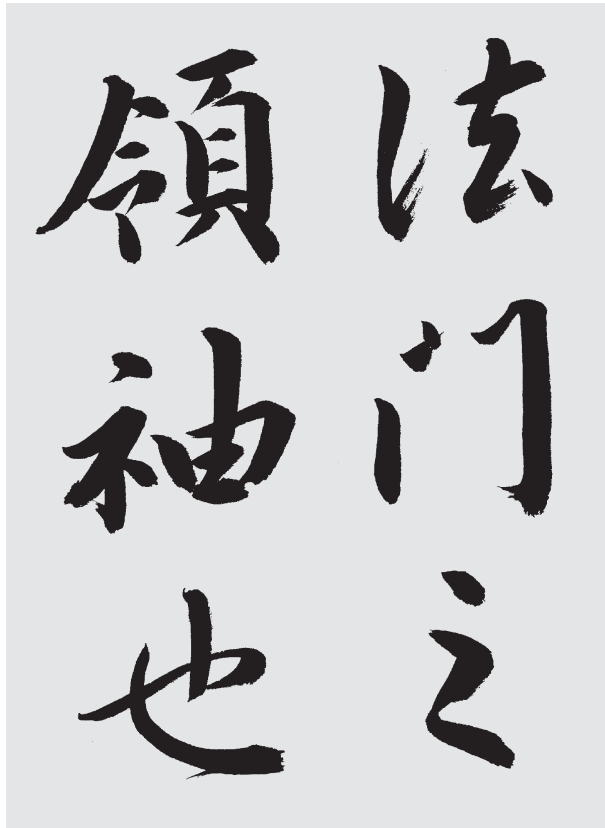
(行 書)

▼六月締切りの自分の学年
の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとして出品のこと。

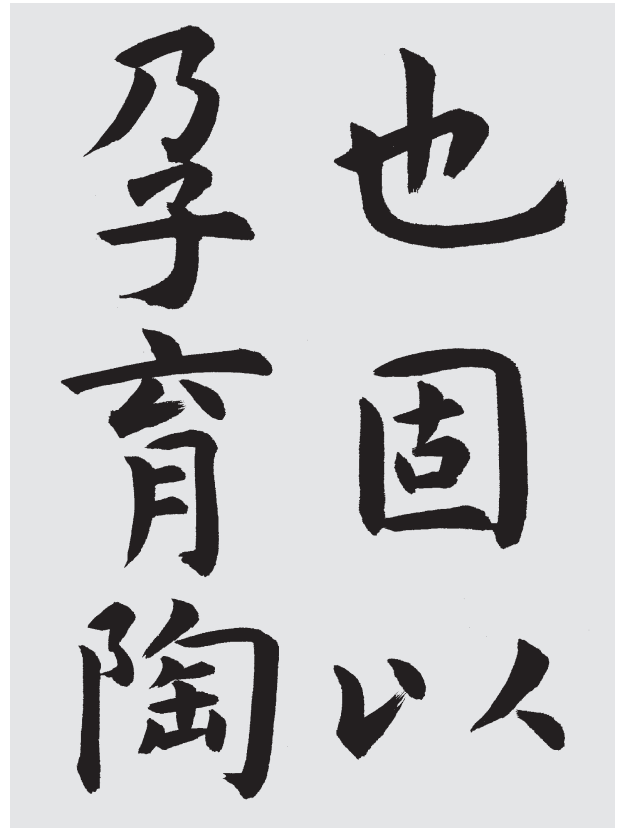
◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



法門之領袖也

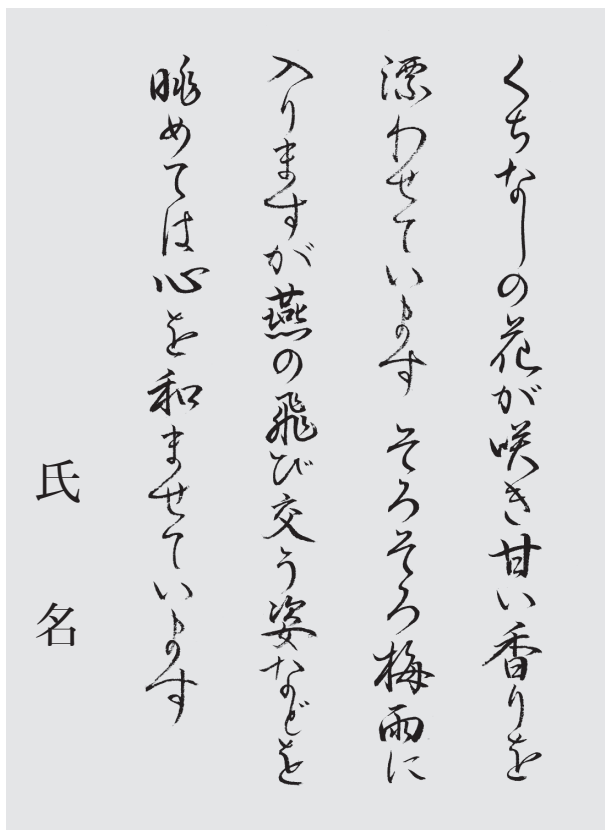


也固以孕育陶

神谷葵水先生臨

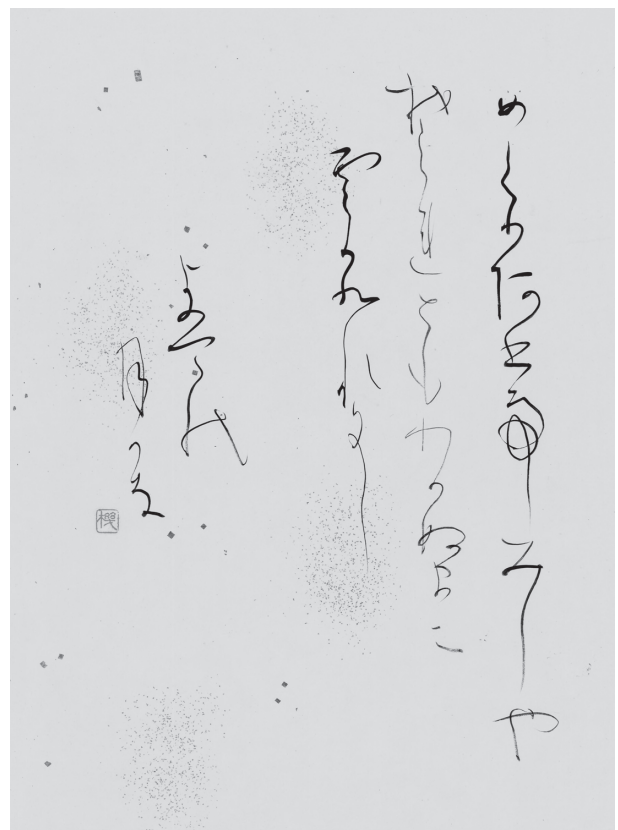
《細字》

《かな》



氏名

伊藤梅香書



めぐりあひて見しやそれともわかぬまに
雲隠れにし夜半の月かな（紫式部）

浅井機山先生書

※かな・細字課題は六月の月例課題を兼ねます。